さいたま市立内谷中学校

白いノート

教育目標　・進んで学ぶ　・心豊か　・たくましく

令和５年１２月１日

さわやか相談室　℡ 048-865-7573

〒336-0034　さいたま市南区内谷 6-10-1　℡ 048-861-7571　http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp

人事を尽くす

校長 髙山　俊介

本校では令和３年度より、市教育委員会の委嘱を受け、「小・中一貫教育」の学校課題研究を推進し、その研究成果を１１月１０日に発表いたしました。本研究は、「さいたま市小・中一貫教育」の基本方針に則り、小学校と中学校の円滑な接続による指導体制の構築に重点をおきました。当日の発表では、ASUKA モデルの提言に基づき、小学校５年生の保健学習「けがの防止」の内容の系統性から中学校１年生の「普通救命講習Ⅰ」資格取得についての研究授業を展開しました。この研究授業では、内谷中学校会場の体育館にて１年生約９５人が資格を取得する心肺蘇生法実習を実施しました。また、同時進行で沼影・浦和大里小学校会場の授業では、本校の２・３年生の体育委員１８名が模範演技や指導補助等を実施するアシスタントティーチャーとして小学校へ赴き、児童と共に心肺蘇生法を学習しました（普通救命講習Ⅰ）。その他にも、７月に各教科において防災学習の視点を取り入れるほか、「自助」「共助」の視点を取り入れ、教科横断的な学びの高度化を図りました（自助・共助を育む授業）。さらに、４月の訓練時には、実際の避難と同じように、中学生の兄弟姉妹が保護者とともに小学校へ赴き、引渡し訓練に参加しました（小・中合同集団下校・引渡し訓練）。そして、これらの取組の効果測定として、「交通安全」「学校安全」「防犯」「防災」「ＳＮＳ」の項目で安全に関するアンケートを実施したところ、小学校の頃と比較して、中学生となった今の方が、「交通安全」では９２％、「学校安全」では９２％、「防犯」が 77%、「防災」が 85%、「SNS」が 87%の肯定的な回答となりました。特に自ら安全に行動するための知識や行動面に関する項目が肯定的な回答が得られました。生徒たちは、小学校での教育活動や学習を土台にして、自ら安全に行動する「自助」の力が定着してきていると考えられます。今後につきましても小学校からの指導をもとにさらなる安全教育の推進、有事の際は、自助はもとより共助にまで人事を尽くせる態度の育成を図ってまいります。

「さいたま市立中学校全 58 校に『ＡＥＤ（自動体外式除細動器）』『屋外型ＡＥＤ収納ボックス」が寄贈されます』
（令和 5 年 9 月 25 日発表）と報道されたＡＥＤ及び屋外型収納ボックスが、11 月 28 日に本校正門前に設置されました。
これは、学校関係者だけでなく地域の方も利用することができるＡＥＤです。

師走となり、朝晩の冷え込みが強くなってまいりました。地域・保護者の皆様におかれましては、ご自愛され、希望に満ちた新年をお迎えになりますようにとお祈り申し上げます。

また、特別な冬休みとなるであろう３年生には、「精一杯、進路に関する人事を尽くそう！」とエールを送ります。